

はじめに

令和5年度版「目黒区の健康福祉」を刊行いたします。

本書は、令和4年度中における保健・医療・福祉事業の概要と実績をまとめたものです。

目黒区は、緑が多く閑静な住宅地が広がる一方で、中目黒や自由が丘など全国的に知られる商業地がある魅力的な場所です。人口28万人、高齢化率20%弱、23区の中で16番目の面積に、さまざまな区民が多様な暮らし方をしています。その中には、新型コロナウイルス感染症拡大により生活困窮となった世帯、地域における人間関係の構築が難しくなり社会的に孤立した人々など、支援を必要としている区民がいます。

平成31年度に開設した「福祉のコンシェルジュ」は、制度や分野ごとに分かれた縦割り支援ではなく、福祉のさまざまな相談を受け止め相談者に寄り添い、解決に向けてサポートしていく総合相談窓口として設置しました。年間の延べ相談件数は当初の3倍近くにのぼっており、令和4年度からは、「ふくしの相談」「くらしの相談」に加えて、居住の安定を見据えたワンストップ型の「住まいの相談」を設け、住まいの確保が困難、アパートの立て替えで転居が必要など住宅確保に特に配慮が必要な「住宅確保要配慮者」を対象に、生活支援と一体的に相談支援を行っています。さらに、令和3年度から社会福祉協議会に配置したコミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）について、段階的に増員して地域づくりを推進してきました。このほか、学童保育クラブの拡充整備に加え、南部・西部に1か所ずつ住区センター内に児童館を整備するなど放課後等の子どもの居場所づくりの推進などの事業を展開しています。

令和4年度は、令和3年度に策定した目黒区基本計画(令和4～13年)が目指す「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」の実現に向けて新たなスタートを切る大切な年と位置付け、区民の皆様が安全・安心して豊かな生活を送ることができるよう、努めてまいりました。

今後とも、年齢や性別、生活環境などに関わらず、だれもが、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、区として「地域共生社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

この「目黒区の健康福祉」を、本区の健康福祉、子育て支援の現状をとらえる一助としてご活用いただければ幸いと存じます。

令和5年8月

目黒区健康福祉部・子育て支援部

【凡 例】

担当所属が変更になっている場合は、各表題のあと及び本文中に以下のように表示します。

<例> 1 「表題名」〈令和4年度所属〉（令和3年度までは●●課●●係が実施）